

2023 年 5 月 8 日

通貨ニュース

OECD 景気先行指数：世界経済の底入れを示唆

5 月 5 日、OECD（経済協力開発機構）は 4 月分の CLI（景気先行指数、Composite leading indicator）を公表した。景気循環の転換点の兆候を早期に捉えるための指標であり、先行期間は 6～9 か月とされている。また、長期平均（≒ 中立水準）は 100 である。OECD によれば、G20 の CLI は +0.03% 上昇した（図表 1、2）。23 年 1 月まで 19 か月連続で低下したのち、3 か月上昇を続けている。他方、G7（▲0.01%）は 21 か月連続で低下。以下、地域別に確認する。

アメリカ大陸は軟調も、南米では反転の兆しもある（図表 1、3）。カナダ（▲0.11%）は 21 か月連続で、米国（▲0.08%）は 22 か月連続で低下した。また、ブラジル（▲0.00%）はほぼ横ばい推移。一方、メキシコ（+0.09%）は 6 か月連続で上昇し、4 か月連続で長期平均超えを記録している。

欧州圏は、長期平均割れは継続も、総じて上向きつつはある（図表 1、4）。ドイツ（+0.18%）は 5 か月連続で、英国（+0.14%）は 6 か月連続で上昇。また、イタリア（+0.14%）は 5 か月連続で、スペイン（+0.06%）は 8 か月連続で上昇した。一方、フランス（▲0.15%）は 18 か月連続で低下した。

アジア・オセアニアは、中国の切り返しが目立つ（図表 1、5）。中国（+0.19%）は 8 か月連続で、オーストラリア（+0.07%）は 23 か月ぶりに、韓国（+0.04%）は 23 か月ぶりにそれぞれ上昇。また、インドネシア（+0.04%）は 2 か月連続で、日本（+0.04%）は 3 か月連続で上昇した。一方、インド（▲0.20%）は 17 か月連続で低下した。

中東・アフリカはまちまちの結果となった（図表 1、6）。トルコ（+0.16%）は 6 か月連続で上昇した一方で、南アフリカ（▲0.16%）は 14 か月連続で低下した。

G20 の CLI は、上述の通り 3 か月連続で上昇を見せており、すでに底入れをした可能性が高い。足許では金融システム不安が燦々とはいるものの、主要中銀による利上げサイクルの終焉が近づきつつあることや、中国経済の一定の回復が確認されていることが景況感改善に寄与しているものと推察される。加えて、供給政策の一層の改善や商品価格の続落による影響もあるだろう。一方で、PMI の推移を確認する限りにおいては、景況感改善はサービス業に留まっている可能性が高く、製造業循環の正常化にはまだ距離がある印象だ。また、一部の国においては特にサービス業分野において価格上昇圧力の再びの強まりが懸念される状況にある。市場では主要中銀による早期の利下げを見込む向きもあるだろうが、基本的にその必要条件はデシインフレのさらなる進行において他にないだろう。減速するとはいえ従前からの予測対比では弱くない経済と、なかなか減速しないインフレ率との狭間で主要中銀が難しい金融政策運営を強いられる可能性が高いのではないか。

市場営業部
長谷川 久悟

03-3242-7065

kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

図表 1: OECD 景気先行指数の推移

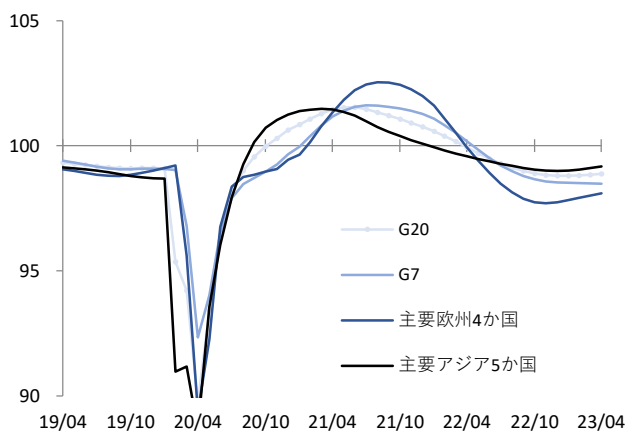
OECD景気先行指数	(長期平均=100)							
	22年09月	22年10月	22年11月	22年12月	23年01月	23年02月	23年03月	23年04月 前月比(%)
G20	99.0	98.9	98.8	98.8	98.8	98.8	98.8	98.9 0.03
G7	98.8	98.7	98.6	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5 ▲ 0.01
主要欧州4か国	97.9	97.7	97.7	97.7	97.8	97.9	98.0	98.1 0.09
主要アジア5か国	99.1	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.1	99.2 0.07
米国	99.0	98.9	98.8	98.7	98.7	98.6	98.5	98.4 ▲ 0.08
カナダ	98.6	98.2	98.0	97.8	97.6	97.4	97.3	97.2 ▲ 0.11
ブラジル	99.9	99.7	99.5	99.3	99.1	99.0	98.9	98.9 ▲ 0.00
メキシコ	99.7	99.7	99.8	99.9	100.1	100.1	100.2	100.2 0.09
ドイツ	98.8	98.6	98.5	98.6	98.8	98.9	99.1	99.3 0.18
フランス	98.8	98.6	98.5	98.4	98.2	98.1	97.9	97.8 ▲ 0.15
イタリア	97.4	97.2	97.2	97.3	97.4	97.6	97.8	97.9 0.14
スペイン	98.1	98.2	98.4	98.6	98.8	99.0	99.0	99.1 0.06
英国	96.0	96.0	96.0	96.2	96.3	96.5	96.6	96.8 0.14
日本	100.2	100.2	100.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.1 0.04
オーストラリア	99.3	99.1	98.9	98.7	98.6	98.6	98.5	98.6 0.07
中国	98.6	98.6	98.7	98.8	99.0	99.1	99.3	99.5 0.19
韓国	99.4	99.1	98.8	98.5	98.3	98.2	98.2	98.2 0.04
インド	100.0	99.8	99.6	99.4	99.2	99.0	98.8	98.6 ▲ 0.20
インドネシア	98.0	97.7	97.5	97.3	97.1	97.1	97.1	97.1 0.04
南アフリカ	100.5	100.5	100.4	100.4	100.3	100.2	100.0	99.9 ▲ 0.16
トルコ	99.5	99.4	99.5	99.6	99.7	99.8	100.0	100.1 0.16

資料: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

※それぞれ四捨五入で記載している

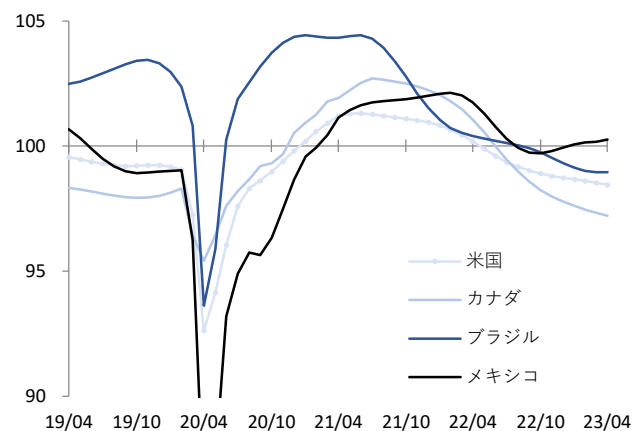
※主要欧州 4 か国はフランス、ドイツ、イタリア、英国

※主要アジア 5 か国は中国、インド、インドネシア、日本、韓国

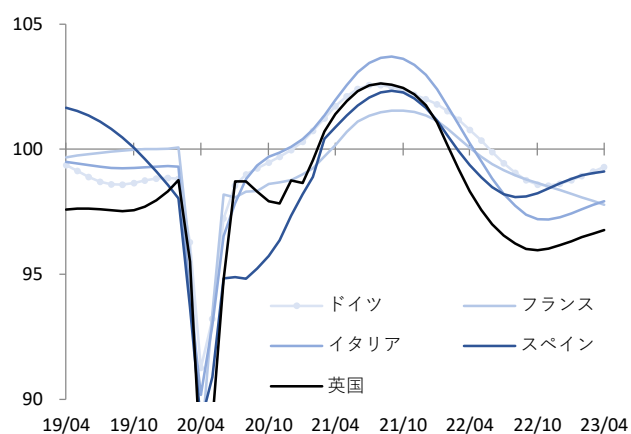
図表 2: G20、G7、主要欧州 4 か国、主要アジア 5 か国


出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

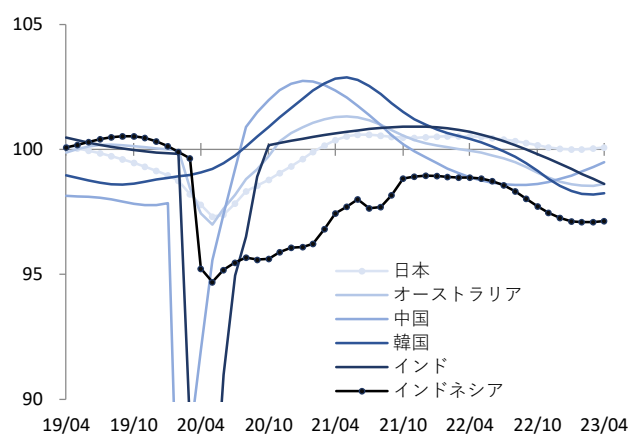
※コロナ期の下限は意図的にカットしている。以下図も同様。

図表 3: アメリカ大陸


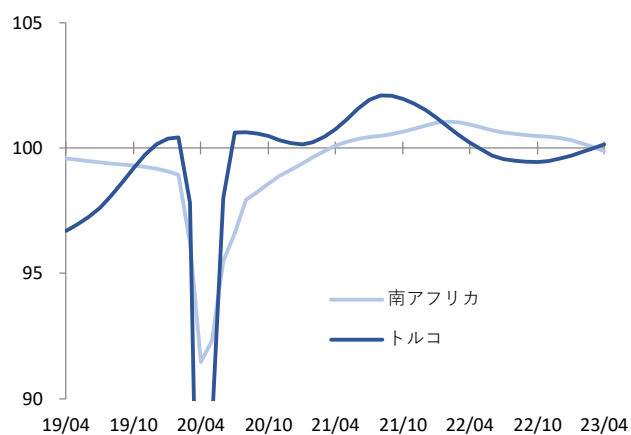
出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 欧州圏


出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 5: アジア・オセアニア


出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 6: 中東・アフリカ


出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。